

新潟市秋葉区農業委員会平成 30 年度第 1 回定期総会議事録

1 開催日時 平成 31 年 3 月 28 日（木）午後 3 時 50 分から午後 4 時 20 分

2 開催場所 秋葉区役所 401 会議室

3 出席委員 (15 人)

会長職務代理者	2 番	平野 榮治
会長	3 番	小倉 栄造
委員	4 番	高野 謙一
農地部会長	5 番	阿部 信行
委員	6 番	高橋 昇
委員	7 番	吉田 信雄
農地部会長職務代理者	8 番	松田 洋一
委員	9 番	鈴木 儀一
委員	10 番	笠原 綱生
委員	11 番	高山 直興
委員	12 番	佐藤 千穂子
委員	13 番	砂原 剛
農政振興部会長職務代理者	14 番	佐藤 英一
委員	15 番	大竹 玲子
委員	16 番	柏木 宏

4 欠席委員 1 番 坂上 静男

5 議事日程

第1 議事録署名委員の選出

5 番 阿部 信行

8 番 松田 洋一

第2 議事

議案第 35 号 平成 30 年度新潟市秋葉区農業委員会業務報告について

6 農業委員会事務局職員

事務局長	佐藤 敏宏
事務局次長	山田 光行
農地係長	田中 学
農政振興係	梅川 美栄子

7 会議の概要

事務局
(局長)

時間になりましたので、引き続き、新潟市秋葉区農業委員会、平成 30 年度第 1 回定期総会を開会いたします。

それでは、議事日程に従いまして議事に入らせていただきます。

なお、本日は、1 番坂上委員から欠席届をいただいておりますが、会議は農業委員会会議規則第 4 条により定足数を満たし成立しています。

それでは、同規則第 5 条の規定により、小倉会長から議長を務めていただきます。よろしくお願いいたします。

議長

それでは最初に議事録署名委員についてお諮りいたします。

議事録署名委員の指名ですが、私から指名させていただくことにご異議ありませんか。

(異議なし)

議長

皆さんから異議がありませんので 5 番・阿部委員、8 番・松田委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

議長

それでは、議案として提案されている案件に入ります。

議案第 35 号、平成 30 年度新潟市秋葉区農業委員会業務報告について、事務局の説明をお願いいたします。

事務局
(次長)

議案第 35 号、平成 30 年度新潟市秋葉区農業委員会業務報告についてご説明いたします。議案書 2 ページをお願いいたします。

1 の事業報告です。

(1) の諸会議の開催ですが、定例総会を毎月、定期総会は 3 月に開催しております。

次に、部会ですが、農地部会を毎月、農政振興部会、推進委員部会を記載のとおり開催いたしました。

次に、(2) の研修会の開催ですが、7 月に「非農家出身の新規参入者による米農業の革新経営について」というテーマで、上越市の(有)穂海農耕、代表取締役丸田洋様からお話をお聞きしております。

(3) のパトロールの実施についてですが、7 月に地区担当の推進委員が事前踏査し、これにより新たに発見した遊休農地について、推進委員・農業委員及び事務局による個別指導を実施しました。

また、前期のパトロールを 8 月に実施し、個別指導後、改善が見られない農地等を対象に区内全域をマイクロバスで踏査しました。

後期のパトロールは、10月に重点地区を中心にそれぞれ記載の内容で実施しております。

パトロールの調査・確認及び指導項目は、遊休農地の実態把握と是正指導、農地の違反転用の早期発見と是正指導など記載の内容で行っております。

次に、(4)の利用意向調査の結果を踏まえた対応であります。

前年度発送した利用意向調査に対する回答を踏まえ、農地中間管理機構又は農地利用集積円滑化団体に対し、農地中間管理事業又は農地利用集積円滑化事業を利用する旨の意思表示があったことを通知いたしました。

また、同意を得られた農地について、新潟県担い手育成総合支援協議会のホームページに情報を掲載し、見える化することにより幅広く受け手を探せるようにしたところです。

次に、(5)の農地等の利用の最適化に関する指針に基づく委員活動ですが、新潟市秋葉区農業委員会農地等の利用に関する指針に定める目標達成に向け、具体的な委員活動を計画的に推進しました。

目標については、市の農業基本構想等に基づき記載のとおりとなっております。

(6)の国有農地管理の管理ですが、秋葉区内国有農地63筆の見回りを実施しました。

(7)の農家組合長交流会の共同開催ですが、30年度は12月に農家組合長連絡会と共同で、NPO法人地域おこし事務局長の多田朋孔氏を招き、「農業を活用した地域おこし、地域活性化」という演題で講演いただきました。

参加者は、農業委員会、農家組合長、新津さつき農協、土地改良区、秋葉区産業振興課の組織から計83人でした。

(8)の農業委員会だよりの発行です。

本年は、6月、9月、1月の年3回発行しております。

(9)の委員視察研修の実施ですが、本年度は7月10～11日に福島県の(株)JAしらかわアグリとJA東西しらかわ植物工場への視察研修を実施しました。

視察テーマ等については、記載のとおりです。

(10)の農地の賃借料情報の提供ですが、農地の賃貸借契約の目安となる地域の実勢賃借料価格情報を2月に農家の皆様に各戸配布しております。

(11)の農地法第3条許可に関する意見決定です。

ご案内のとおり、国家戦略特別区域法に基づく農地法第3条許可事務の事務分担についての権限移譲範囲が拡大され、平成28年4月1日か

ら3条許可事務の全部を市長に権限移譲しました。28年4月からは、市長からの意見照会に基づき、総会において農地法第3条許可申請に関する意見決定を実施しているところです。

(12)の市長との懇談会の開催です。

2月5日に新潟市6農業委員会共同で、市の農政に関する課題について、直接市長と懇談し意見交換したところです。

(13)は新農業委員及び推進委員の募集と候補者選定についてです。

平成31年4月から新しく選任される農業委員及び推進委員の募集並びに選定に係る手続きを以下の通り実施したところです。

10月1日～31日まで、新農業委員及び推進委員の推薦・公募を受け付けたのを始め、記載のとおりの内容で実施しております。

(14)経営継承を円滑に進めるための研修ですが、12月13日に新潟地域振興局が主催する「経営発展研修会」に参加し、経営継承を円滑に進めるための実務等について研修しております。

5ページから8ページについては、秋葉区農業委員会の農地移動等に関するデータです。(1)から(3)は農地移動の状況、(4)は認定農業者の農地集積率、(5)は農業者年金関係、(6)は国有農地の管理関係、(7)は家族経営協定、(8)は農地所有適格法人、(9)は新規就農者数、(10)は中間管理事業関係の状況についての記載となっております。

後ほどご覧いただきたいと思います。詳細な説明は省略させていただきます。

以上で報告を終わります。

議長

ただ今の説明に対し、ご質問、ご意見はありませんか。

鈴木委員

9番鈴木です。7ページの(8)農地所有適格法人で、昨年度に比べ法人数が2つ増えています。具体的にどこでしょうか。

また、(9)の新規就農者数において30年度に1となっておりますが、これも具体的にどなただったのでしょうか。

事務局

30年度の新規適格法人は、A農事組合法人と(株)Bの2法人です。

(株)Bについては、法人としての実際の活動は29年度からで、30年度が初めての申告となっております。

また、新規就農者は、過日、C氏の娘さんが当市に移住してきて、5反以上の親の農地を借りて畑を始めるということで許可を受けたものであり、ご記憶の方も多いと思いますが、これが30年度の新規就農者となります。

議長 よろしいですか。他にありませんか。

佐藤千穂子
委員 12 番佐藤です。29 年度末の家族経営協定農家数が前年より減っていますが、これはどのような理由からでしょうか。また、家族経営協定締結時に農業委員会はどのように関わっているのでしょうか。

事務局 家族経営協定をしている農家数は、区の産業振興課から把握した数字です。家族経営協定が減る要因としては、農家の離農、全面委託、法人化などが考えられますが、具体的に何の要因で減少したかは把握しておりません。

家族経営協定締結時の農業委員会としての関わりですが、過去には、農業委員会会長が協定締結の立会人として参加していた時期もありましたが、今では、文書協議の中で会長が立会者を務め、文書決裁しております。

以上です。

議長 よろしいですか。他にありませんか。

(なし)

議長 他にご質問、ご意見がありませんので、事務局の説明のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なし)

議長 皆さんから異議なしの声がありましたので取りまとめたいと思います。本案件について原案どおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

議長 全員賛成ですので議案第 35 号は、原案のとおり承認されました。

議長 以上をもちまして、議事を終了いたします。

他にありませんか。

(なし)

議長

これで、平成30年度第1回定期総会を閉会いたします。

議事録に相違ないことを認める。

議長 小倉 栄造

署名委員 阿部 信行

署名委員 松田 洋一